

ボーイスカウト運動の歴史

1907年、かねてから少年たちの教育に関心を持っていたボーイスカウトの創始者ロバート・ベーデン・パウエル卿は、イギリスのブラウンシー島に20人の少年たちを集めて実験キャンプを行いました。この体験をもとに、翌年「スカウティング・フォア・ボーイズ」という本を著し、少年たちの旺盛な冒険心や好奇心を、キャンプ生活や自然観察、グループでのゲームなどの中で発揮させ、「遊び」を通して少年たちに自立心や協調性、リーダーシップを身につけさせようとしてきました。これがボーイスカウト運動の始まりです。

幸福を得る本当の道は
他の人に幸福を
与えることにある。



創始者
ロバート・ベーデン・パウエル卿
(1857年~1941年)

© ボーイスカウト日本連盟

日本の歴史

日本には、1908年(明治41年)にこのボーイスカウト運動が伝わりました。当時全国にいろいろな少年団がありましたが、1922年(大正11年)に「少年団日本連盟」が創立され、ボーイスカウト国際事務局に正式加盟して世界の仲間入りを果たしました。



© ボーイスカウト日本連盟

世界の161の国と地域で
3,000万人のスカウトが活動しています。

国内・国外の多くの仲間たちと 交流ができる

4年に一度、世界のスカウトの代表が集まる世界スカウトジャンボリー、国内・国外の代表が集まる日本ジャンボリーが開かれ、キャンプを行いながら交流を深めます。2015年の第23回世界スカウトジャンボリーは、山口県さくら浜で開催されます。



© ボーイスカウト日本連盟

ボーイスカウトは行うことによって学びます

<p>からだでおぼえたものは はなれない</p> <p>手でおぼえる 足でさぐる 目にはやきつける 胸にしみこみます</p> <p>ボーイスカウトの 仕事は すべてこれだ これなんだ</p> <p>水くみひとつにも 上手下手がある 米をとぐのも めしをたくのも 玉ネギをきざむのも ジャガイモの皮をむくのも 遊び半分では 出来ない 出来ない</p> <p>なれない仕事で 涙ぐむと 母の顔が浮かび 力のいる仕事で へたばると 父の笑い顔が見える</p>	<p>われとわが身を はげましても 情けなさがあふれて来て あたりの風景に もやをかける</p> <p>のりこえろ のりこえろ からだでおぼえたものは からだから はなれない はなれない</p> <p>手でおぼえる 足でさぐる 目にはやきつける 胸にしみこみます</p> <p>満足に つめを果した夜の キャンプファイヤーの 火はずばらしい 静かにじつと眺めていると さわやかな ほんとうに さわやかな虫の音が 首にしみこむ 背なかにしみ通る</p>
--	---

詩人：サトウハチローが
ボーイスカウトをおもって作った詩